

自己評価の視点	気付いたこと・課題
I 保育理念	<ul style="list-style-type: none"> ・「たのしく・かしこく・やさしく、まじめに・だいじょうぶ」をモットーに、全職員で共通理解をし保育に取り組んでいるが、園の使命・役割まで反映が十分にできていないと感じている。 ・昔ながらの園であるため存在自体は地域に認知されているが、理念等の周知については、まだまだと感じている。今後は園の取り組みを通して地域へ発信していきたい。 ・コロナ禍の中でも園が安心できる場所になれるようにした。一人ひとりの子どもの思いを大切にということを常に口にして保育理念を共通理解できるように務めた
II 子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と子どもたちのかかわりの時間を多く取ることで、子どもたちにとって必要な人的環境が整っていくものと考えている。今後の取り組みとして書類作成（計画、記録）にかかる時間の改善に必要性を感じているところ。「子どもにとって必要な直接的なかかわり」を実践していきたい。 ・保育環境の整備や、保育内容がもう少し整備が必要である。特に長時間にわたる保育が必要なケースにおいて、子どもが心地よく過ごすことのできる環境の提供に力を入れる必要性を感じている。
III 保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・全世帯（希望者）を対象に個別面談の実施や保護者アンケートの実施（公表）を通して、保護者の想いと園の想いとの共通理解に取り組んでいる。 ・掲示板を活用し子育てに関する情報を周知したり、関係機関と連携したり、必要に応じ対応を行っている。 ・保護者のプライバシーを守りながら、こまめな声掛けや配慮を心がけ、話がしやすい環境づくりを行ってきた。今後も続けていきたい。 子どもの活動の様子をYoutube配信を行ったり、掲示で知らせたりすることで保護者との共有ができよかった。今後も工夫していきたい。
IV 保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた環境のもと、園児の健康増進や食育の取り組みは充実している。また、災害発生時の対応も、訓練時より真剣に取り組んでおり、命を守る対策を心掛けている。今後は、地域の方や関係機関との連携を深めていきたい。 ・質の向上として、自己評価を行っているが、園の改善点等をもっと職員間で話し合っていく必要を感じています。また、その中において、職員にとって働きやすい環境の構築も今後の重要課題と認識している。